

平成 24 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

◎平成 24 年度事業報告(総括)	・・・P1
◎諸会議	・・・P2～P3
1. 第 5 次地域福祉推進計画	・・・P4～P5
2. 地域福祉活動	・・・P5～P8
3. ボランティアセンター活動	・・・P8～P12
4. 生活支援サービス活動	・・・P12
5. 児童・家庭福祉活動	・・・P13
6. 障がい者(児)福祉活動	・・・P13～P19
7. 高齢者福祉活動	・・・P19～P24
8. 福祉教育活動	・・・P25～P26
9. 広報・啓発活動	・・・P26
10. 自主財源活動	・・・P27～P29
11. 団体事務局の運営	・・・P29
12. 総合福祉センター管理受託事業	・・・P29～P31
◎役員の状況	・・・P32

平成 24 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告 (総括)

本年度は、地域福祉を推進する団体として、今後の地域福祉の方向性を示す「第5次地域福祉推進計画（平成24年4月～27年3月）」の初年度となり、特に情報の発信と広報活動、地域との連携・協働、福祉活動の担い手の育成に取組みました。その評価として住民の立場や専門的な視点から地域福祉推進計画評価委員会を開催し各事業の取組み評価を受け、次年度からの計画推進をより一層進めていくことといたしております。計画目標の「みんなでつくる安心して暮らせるまちづくり」をめざし、行政との定期的な意見情報交換の機会も持ちながら、住民主体による地域福祉活動の充実に取り組んでいきます。

地域福祉活動では、ボランティア活動センターを中心とした各種講座の開催、地域のボランティアニーズとのマッチング、啓発活動や町内小中学校と連携した福祉教育活動の推進に努めました。また、今後は全県キャンペーン「ストップ・ザ・無縁社会」の取組みとして生活福祉資金貸付事業や地域の困りごとの早期発見のための福祉委員活動による地域福祉コミュニティの推進に努めていきます。

高齢者福祉事業では、地域包括支援センター等の町からの受託事業を実施し、権利擁護、介護予防事業を展開しました。また、介護保険事業では安定した経営に取り組み、地域に開かれた介護事業所を目指し、第5次地域福祉推進計画の目標である在宅生活支援を利用者本位のサービス、サービスの質の向上に努めサービス提供を行いました。

障害者福祉事業では、地域で生活する精神障がい者の方への「ふれあいサロン事業」を運営してまいりましたが、町と協議を重ね、新たに精神障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、町より地域活動支援センターを受託し、開設いたしました。

また、地域における障害者福祉に関わる人材育成・発掘を目的として、3年間かけて取組む障害者交流啓発“イナワイ”をはじめ、障がい者ふれあい運動会やふれあいバスツアー等を通して各種団体との連携など、地域福祉の参画を促す土壌づくりに取り組ましました。

社協を支える職員については、外部講師を積極的に迎え入れ職場内研修の定例化とともに、県社協等の実施する各種専門研修や外部研修にも参加し、個々の専門性と資質の向上に努めました。

法人全体の事業収支では、収入総額 418,085 千円（対前年度比率 95.7%）、支出総額 418,945 千円（対前年度比率 95.7%）となり、差引額は△860 千円（前年度 △632 千円）の赤字となりました。このうち経常収入は 414,721 千円、経常支出は 415,908 千円となり、経常収支差引額（経常損失）は△1,187 千円、経常収支比率は 99.7%となりました。

以下、ここに平成 24 年度における本会の諸活動について報告いたします。

諸 会 議

◎理事会開催状況

(理事定数 11 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 4. 26	理事会 (1 回)	総合福祉センター	(議案第 1 号) 評議員の選任について
24. 5. 24	理事会 (2 回)	総合福祉センター	(議案第 2 号) 評議員の選任について (議案第 3 号) 平成 23 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業報告について (議案第 4 号) 平成 23 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出決算について
24. 6. 11	理事会 (3 回)	総合福祉センター	(議案第 5 号) 会長・副会長の選任について
24. 9. 18	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案なし 協議・報告のみ
25. 1. 29	理事会 (5 回)	総合福祉センター	(議案第 6 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程(生活介護、就労移行支援、就労継続支援 B 型)の一部改正について (議案第 7 号) 猪名川町社会福祉協議会ゆうあいグループホーム入退所審査会要綱の一部改正について (議案第 8 号) 平成 24 年度猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について
25. 3. 21	理事会 (6 回)	総合福祉センター	(議案第 9 号) 障害者自立支援法の一部改正に伴う関係規程の整理に関する規程の制定について (議案第 10 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について (議案第 11 号) 平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について (議案第 12 号) 平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について

◎監事会開催状況

(監事定数2名)

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 5. 22	監査	総合福祉センター	平成23年度収入支出決算監査

◎評議員会開催状況

(評議員定数23名)

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 5. 30	評議員会 (1回)	総合福祉センター	(議案第1号) 理事及び監事の選任について (議案第2号) 平成23年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について (議案第3号) 平成23年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
25. 2. 5	評議員会 (2回)	総合福祉センター	(議案第4号) 平成24年度猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
25. 3. 27	評議員会 (3回)	総合福祉センター	(議案第5号) 理事の選任について (議案第6号) 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について (議案第7号) 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について

◎兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 9. 18	委員会	総合福祉センター	(議案第1号) 平成23年度一般会計及び特別会計決算について (議案第2号) 平成24年度共同募金運動の実施計画について (議案第3号) 平成24年度一般会計及び特別会計予算について

1. 第5次 地域福祉推進計画

住み慣れた地域で安心して暮らすためには、様々な生活課題（日常生活での困りごと）の解決について人と人との「つながり」や「支え合い」の共助、住民主体とした福祉力が求められます。

この共助の仕組み作りを行う上で重要な役割を果たすのが「地域福祉推進計画」と考え、四つの重点活動項目（社協づくり・情報の発信と受信・きっかけづくり・人の輪づくり）をかかげ取り組んできました。これらの活動項目は社会福祉協議会が本来果たすべく役割として住民の福祉理解や福祉活動への参加、福祉委員や民生委員児童委員、ボランティア等の地域関係機関、行政と連携し地域福祉を推進していくものです。この計画は平成24年4月から平成27年3月までの3ヶ年とし、本年度は計画の初年度となり、今後も住民とともに地域福祉の発展に積極的に取り組むためにも地域福祉推進計画評価委員会での評価を受けながら取り組んでいきます。

1) 社協づくり

住民の社協理解・協力を促進するため、社協の目的及び会費の使途についてリーフレットの見直しや社協だよりにて、福祉委員会やボランティア活動センター等の地域福祉活動の中心となる事業の概要について周知を図り、“社協施策”の見える化を進めました。

また、災害時における救援マニュアルを作成するための職員ワーキングチームを立ち上げ、県社協の地域支え合い体制づくり事業からの助成金で要援護者管理システムを導入し、非常時への体制づくり及び、職員の災害に対する意識を高めることに取り組みました。

これら職員の技術知識の向上及び組織の発展を目的として、業務上の専門性に特化せず、外部から講師を招いての研修（ライフワークバランス・ゲートキーパー）や内部研修（苦情対応）を3回実施しました。外部研修への参加や近隣の事業所間との情報交換や見学、合同研修にも取り組みました。

2) 情報の発信と受信

住民参加の講座開催後の意見交換やアンケートにより地域のニーズや困りごとについて情報交換を行うことで、講座受講ニーズを把握し対象者を想定し内容を検討することで、その講座を必要としている方に情報を効果的に広報することで、参加しやすい開催方法について見直しを図りました。

取組みとして、ふれあい伝言板や関係機関、コンビニエンスストア等とも連携し、啓発用のチラシ配布やポスターを掲示することで、サービスの新規申込みや老人クラブや福祉委員会の講座開催実績も増えました。

各地域における直近の状況について意見交換を行うことにより、地域で困りごとを抱える高齢者やその家族と関わる福祉委員からの相談も増加傾向にあります。

3) 人の輪づくり

町福祉課と定期的な情報交換の中で、地域の实情に沿った今後の事業運営等について協議する機会を設け、事業の進捗状況や町の福祉施策との摺合せを行いました。

独居・認知症高齢者の民間事業者との工事契約や物品受注・契約に関するトラブルの発生に対し、地域包括支援センターや消費者相談窓口と連携して問題解決にむけて支援を行いました。

また、年々、増加傾向にある虐待ケースや困難事例ケースの支援、社会的孤立状態にある方や制度の狭間で問題を抱えている方に対しても行政と協働で適切な支援に結びました。

ボランティア活動センターでは、受講後もコーディネーターが途切れない関係づくりに努め

相互の情報交換を行うことで、コーディネート数が増加傾向にあります。ゆうあい福祉の集いでは、台風による悪天候のために中止となりましたが、開催にむけて災害ボランティアバス参加者やサマーボランティアスクール参加者、各種団体、各小学校区まちづくり協議会の方々の参加を促し、啓発における取り組みを進めることで、交流を持つ機会も少しずつ増え、支援の輪を拡げることに努めました。

4) きっかけづくり

外部講師のコーディネートや啓発における NPO 団体との協働で、効率性・効果性を確保しながら住民参加の促進に取り組み、地域における人材の発掘と育成について、一定の成果を得ることができました。

福祉学習では、各小中学校の特色を活かした内容を紹介することで、新たな福祉学習のテーマに取組まれる学校が見られ一定の拡がりがありました。

また、事務局内での地域福祉活動への体制見直しを図り、事業所（介護保険事業や自立支援法事業等）職員が社協の事業と連携することで、地域の様々なニーズに対応できる幅が拡がりました。

5) 地域福祉推進計画評価委員会

本年度より策定した地域福祉推進計画に基づいて実施している事業について、住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

各種事業の進捗状況の報告を行うと共に次年度以降の事業の取組み評価方法について各種委員の方よりご意見をいただきました。

開催日：平成 25 年 2 月 26 日（火）



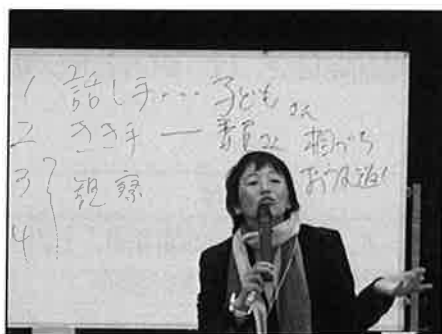
地域福祉推進計画評価委員会の様子

2. 地域福祉活動

1) 福祉委員活動

福祉委員制度は、自分たちが住んでいる地域の福祉課題に目をむけながら住民参加の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、今年度もその活動の一層の推進に努めました。

① 福祉委員会全体会議の開催（2回：5月26日・12月8日）



福祉委員全体会の講演風景



研修会でのグループ討議風景

- ② 役員会開催（5回：5月12日・7月7日・9月8日・12月1日・2月9日）
- ③ 昨年度に引き続き、校区福祉委員活動としてキャラバンメイトの協力を得て、認知症サポーター養成講座（グループワーク形式）を実施しました。認知症への理解者を増やすと共に、日頃から地域のつながりの大切さを啓発するための地域福祉の取り組みの一環として、今後も継続していきます。



認知症高齢者見守りのグループ討議風景



認知症高齢者理解の寸劇

7月 1日	つつじが丘小学校区福祉委員会主催	33名
7月14日	内馬場・伏見台地区福祉委員会主催	25名
2月 1日	楊津・大島小学校区福祉委員会共催	30名
3月30日	猪名川小校区福祉委員会主催	4名

- ④ 継続的取り組みとして福祉委員会主催で、福祉用具展示会を開催しました。
 開催日：平成24年11月11日(日)
 場 所：猪名川町文化体育館（小ホール）
 内 容：福祉用具展示、ミニ講座、介護保険等の相談コーナー、アンケート実施



福祉用具展示会 会場風景



実際に用具を体験・ミニ講座風景

- ⑤ 小地域福祉組織化活動
 福祉委員は、それぞれ地域の特性にあわせた福祉啓発活動、地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取り組みました。阿古谷小学校が平成25年3月末で廃校となりましたが、次年度から「阿古谷小学校区福祉委員会」は「阿古谷地区福祉委員会」として当面の活動を続けます。

◆主な活動内容

地区・小校区名	活動内容
内馬場・伏見台地区	映画会（子ども向け・大人向け）、公園清掃、民生委員と共催の地区高齢者花見、認知症サポーター養成講座
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年2回）、民生委員と交流会、まち協福祉専門部会に参加

地区・小校区名	活動内容
阿古谷小校区	クリーンアップ作戦参加、夏祭り、草刈・植木手入奉仕、地域合同運動会、食育講演会、出前講座、うどん教室、歌声サロン（年6回）、声掛け運動、小学校下校安全見守り、ふれあい広場にテーブル設置
猪名川小校区	若葉いこいの家の運営ボランティア、認知症サポーター養成講座、子育てホットスペース、健康教室、むつみ会の運営サポート、秋祭り世代交流、高齢者栄養管理講座、等
つつじが丘小校区	古切手等の収集と寄贈、あそびのひろば（年10回、まち協の支援）、民生委員との懇談会、認知症サポーター養成講座、夏祭りでの模擬店、いこいの会（年12回、猪名川台）、カフェサテの開催（年9回、差組）
白金小校区	善意の傘の補充・メンテ、ふれあいサロン（絵手紙、）、ふれあいバスツアー、健康福祉講座（まち協と共催）、福祉ふれあい講座
楊津小校区	福祉ふれあいグラウンドゴルフ大会 夏まつり参加 勉強会 まち協と共催の防災訓練 認知症サポーター養成講座（大島校区との共催）
大島小校区	パンフレット配布（社協が行う高齢者福祉サービスに関して）、出前講座（脳トレ、口腔ケア）、介護技術講習会、自治会住民全戸訪問、独居老人との対話、認知症サポーター養成講座（楊津小校区との共催）

- ⑥ 行事・イベント等への参加
障がい者ふれあい運動会、各種募金活動など
- ⑦ 社協会員会費、共同募金運動への参加協力

2) ふれあい弁当配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯を対象に、食生活の充実と安否の確認を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度も、調理ボランティア、運転ボランティア及び福祉委員の協力により、1,918食/49日（平成23年度1,881食/48日）を配食しました。また、毎月1回「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約480部/年」を発行しました。

◆ふれあい弁当当月別配食実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	170	222	179	166	157	146	175	146	147	147	150	113	1,918
1回あたりの平均配食数	42	44	44	41	39	36	35	36	36	36	37	37	39
23年度	147	109	186	153	170	168	155	158	116	159	200	160	1,881
1回あたりの平均配食数	37	36	37	38	43	42	39	40	39	40	40	40	39

3) 相談活動

① 生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々などに低金利で資金を貸付ける事業で、世帯の経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定した生活を送れることを目的とした貸付制度です。

本年度の相談は15件で、そのうち7件が総合支援資金、8件が生活福祉資金でした。申請に至ったケースは3件となり、1件（教育支援資金）は承認、2件は生活設計の甘さが原因で不承認となりました。

総合支援資金の相談は、平成22年・23年頃と違って、7件のうち4件は精神疾患を持つ方が繰り返し相談されたもので、話し相手を探している感じを強く受けました。相談者がインターネットを見て相談に来られるケースも増えました。相談に来られた方に資金の貸し付けだけでなく、生活支援の相談にのるなど、別の機関へつなぐことを心がけました。

② 心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、社会福祉会館、木津総合会館及び日生公民館において、原則毎週火曜日の午前10時から12時まで民生委員児童委員が輪番で相談を受けています。本年度の相談件数は1件（障がい者の生活について）でした。昨年度は5件でした。

4) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障がい者・知的障がい者等）が、地域で安心して生活ができるように福祉サービス利用への援助（福祉サービスの情報提供・サービスの利用手続きの援助、サービス利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成12年度より実施しています。

本年度は24件の相談がありましたが利用は0件となりました。今後も真にサービスが必要な方に支援できるよう啓発等を行いました。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成25年1月1日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明
- ・相談

3. ボランティアセンター活動

1) ボランティアセンターの活動

- ① 兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い取扱い件数は117件、加入者数は1,331名。（平成23年度112件・1,313名）その内、東日本大震災に伴う【災害特例】の取扱い件数は2件、加入者数は37名でした。
- ② ボランティアグループ連絡会では、8グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを行なっています。本年度3回（昨年度3回）開催しました。

- ③ 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会では、ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設けており、5名の委員(ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で結成されています。本年度は1回(平成23年度1回)開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。



◆ボランティアに関する相談受付処理状況

	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	NPO法人設立に関する相談	その他	合計
一般住民	32	1	2	1	0	0	13	0	2	51
ボランティア・市民活動団体	5	2	5	21	12	6	63	0	0	114
施設(福祉事業者)・病院	2	7	7	0	0	0	0	0	0	16
行政機関	0	13	1	2	0	0	13	0	0	29
社協	1	4	1	0	1	0	0	0	0	7
福祉団体	0	1	0	1	0	0	3	0	1	6
学校・教育機関	0	1	17	5	1	0	1	0	0	25
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	40	29	33	30	14	6	94	0	3	249

2) ボランティア講座・研修会の開催

本年度は、「第5次地域福祉推進計画 ふれあい活動プラン」に基づき、住民が参加しやすい講座開催を目指しました。ボランティアのいろはを学ぶ「ボランティアきっかけ講座」の開催をはじめ講座開催日時の設定を工夫、一回でも受講可能とし、町内事業所へ講座開催ポスターやチラシ配布などのPR活動も行いました。

① 点訳ボランティア入門講座

開催日：平成24年7月11日(水)～12月26日(水)

第2・4水曜 計11回

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：視覚障がい者への情報支援の充実と社会参加を促進することを目的に、点字の基礎知識や語句・文章の書き表し方(分かち書き)などを学び、実際に点字板を使用し点訳技術を学習しました。



点訳ボランティア講座の様子



講師：財団法人 兵庫県視覚障害者福祉協会
中山 敬 氏

参加者：11名（内6名の方が修了）

② サマーボランティアスクール

中・高校生、大学生等を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関心を高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

PR活動を工夫することで昨年に比べ多くの受講者がありました。

開催日：平成24年7月21日(土)～8月31日(金)

延べ日数：30日

場 所：総合福祉センター

内 容：あそびのひろば・介護保険サービス(デイサービス・グループホーム)・障がい者福祉サービス(多機能型事業所「希望の家すばる」)・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループ協力のもと音訳点訳・手話・要約筆記の体験などの活動の場を設け、受講者自身が複数の活動を希望されるなどボランティア活動に触れる機会となりました。



あそびのひろば体験の様子

参加者：23名 延べ：45名（昨年度6名、延べ：9名）

③ 難聴者支援のボランティア体験講座

要約筆記ボランティアのきっかけ作り、聴覚障がい者福祉への理解を深めることを目的に、要約筆記ボランティアグループ「ゆきんこ」主催、社協は共催で行いました。

開催日：平成24年11月8日(木)・15日(木)・22日(木) ※一回のみの参加可

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：第1回 字幕付きDVD制作

第2回 ノートテイク(書いて伝える)

第3回 パソコン要約筆記字幕制作体験講座

参加者：6名 延べ：14名

④ 傾聴ボランティア入門講座

地域とのつながりが希薄になりがちな高齢者や障がい者、子育て中の方などのさまざまな想いや悩みに耳を傾けるボランティアが求められています。「聴く」ことを学ぶことで活動に結びつけることを目的に実施しました。

開催日：平成24年10月16日(火)・23日(火)・30日(火)

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：第1回 コミュニケーションの基本

第2回 傾聴を学ぶ

第3回 グループでのコミュニケーションの実践

講師：心理スペース「ぼれぼれ」主宰 稲松 由佳 氏

参加者：30名

⑤ ボランティアきっかけ講座

ボランティアに興味関心はあるが活動に踏み切れない方や活動を希望される方を対象に、ボランティアの基礎知識を学び、当事者の方からの話や体験を通じて、「はじめの第一歩」を踏み出すきっかけとなることを目的に実施(2回コース)しました。開催日の



傾聴ボランティア講座の様子

設定を工夫することで多くの方が参加できる機会を確保しました。

開催日：平成 25 年 2 月 9 日(土)・16(土)

場 所：総合福祉センター 研修室・ゆうあいドーム

内 容：第 1 回「ボランティアってどうすればいいの？」
～ボランティアのいろは～

講 師：社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
西浦 耕太 氏

第 2 回 「パラリンピックメダリストの話をきいてみよう！」
～ブラインドサッカー(視覚障がい者サッカー)のミニ体験～

講 師：パラリンピックメダリスト 齋藤 晃司 氏

参加者：12 名 延べ：16 名

⑥ 災害ボランティア養成講座

災害ボランティアとして必要な基礎知識を学び、猪名川町や各地で災害が発生した際に活動できる災害ボランティアの育成を目的に開催（2 回コース）しました。

開催日：平成 25 年 3 月 16 日(土)・23 日(土)

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：第 1 回「災害についての基礎知識」

第 2 回「災害ボランティアの役割・心構え」

講 師：特定非営利法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)

常務理事 寺本 弘伸 氏

参加者：12 名 延べ：23 名



ブラインドサッカーの様子



災害ボランティア講座の様子



3) 啓発用冊子等の作成・配布

① ボランティア啓発事業

「ゆうあい福祉の集い」の本年度テーマ「つながる・ひろがる！」に沿って、ボランティアグループそれぞれがパネル展示・体験コーナーを設置し、ボランティアへの関心を高める啓発活動を行う計画でしたが、台風 17 号の接近のため中止となりました。

パソコンボランティア「夢ネット」	パソコンを利用したオリジナルカード作り
手話サークル「うりんぼう」	手話体験・ダーツゲーム
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音体験
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験
手話サークル「マジック」	手話体験(震災に関する手話)
託児ボランティア「ぼんぼこ」	プラ板作り
要約筆記ボランティア「ゆきんこ」	字幕付DVD映画会「奇跡」
ふれあい弁当調理ボランティア「えぷろん」	ふれあい弁当の販売